

令和8年度オラレ下関運営業務プロポーザル評価基準

以下の事項を5段階評価で採点

No.	審査項目	審査基準	評価点		
1	人材確保 ・ 人材育成	オラレ下関にふさわしい品格を持った人材の確保 ボートレースに関する知識習得及び接客マナーの向上に資する研修の実施手法	40	実現性	適正な人材確保ができるものとなっているか
				計画性	計画的な実施体制となっているか
				理解度	オラレ下関の現状をふまえたものとなっているか
				将来性	業務成果の品質を確保、向上させるものとなっているか
				効率性	効率的な実施体制となっているか
2	イベント・ファンサービス	オラレ下関におけるファンサービス・イベントの実施定期イベント、有料席サービス等) 新規顧客の獲得や売上増加を目的とする新たな施策の実施	50	集客性	集客効果の高いものとなっているか
				独創性	斬新で訴求力があり、広く認知される内容となっているか
				実現性	実現性の高いものとなっているか
				理解度	オラレ下関の現状をふまえたものとなっているか
				習熟度	業務に関する過去の経験等を活かしたものとなっているか
3	実績	過去の接客事業の実績	5	実績	本業務に活かせる実績となっているか
4	コスト性	効果的な事業計画	5	費用面	見積限度額の範囲内で事業計画が提案されているか
			100		

■コスト性の採点方法

コスト性は、最低提案額と公募上限額の差額（以下「基準額」）に対する各事業者の提案額と見積限度額の差額の乖離率に応じてあらかじめ点数を付与する。

基準額からの乖離率	点数
最低提案額	5点
0%越え25%以内	4点
25%越え50%以内	3点
50%越え75%以内	2点
75%越え100%以内	1点